



JC ル・ルー

JC Le Roux

生産者名 ディステル
生産者名 (英) Distell

南アフリカの国民的スパークリングワイン・ブランド

JCル・ルーは、南アフリカはウェスタンケープ州、ステレンボッシュ地区のデボンヴァレー(Devon Valley)に拠点を構える、同国内でも最大規模のスパークリングワインメーカーです。その起源は1700年代初頭にまで遡り、フランスのノルマンディーからステレンボッシュへ移住してきた「ジャン・ル・ルー(Jean le Roux)」にちなんで名付けられました。

「イノベーション」を理念に掲げる同社は、1985年に南アにおいて先駆けとなる、メトード・キャップ・クラシック(瓶内二次製法)によるピノ・ノワールのスパークリングをリリースし、1999年には同国初のオフ・ドライのキャップクラシック、2003年にフラグシップ・スパークリングワイン「SCINTILLA」(当社未輸入)のリリースを行うなど、時代に先駆け実施してきた数々の取り組みによってマーケットを牽引してきました。



また、南アフリカで主催されるコンテスト「Ask Africa ICON Brand Awards」においては、ワイン部門で過去部門最多の5度にわたる受賞歴を持ち、国民的なスパークリングワインのブランドとして今や認知されています。

